③一般向け

平成27年度「 熊本県がん相談機能向上に関するアンケート調査」結果報告書

1　調査の概要

（1）調査目的

熊本県内のがん相談機能の現状を把握するとともに、課題・ニーズを抽出し、今後増加が見込まれる、がん患者様及びご家族に対する適正ながん情報や相談の場の提供が行われ、療養生活の質の維持向上を図る施策の検討を行うことを目的としています。

（2）調査期間

平成28年2月1日～2月29日（1ヶ月間）

（3）調査対象者

一般の方（※480名）

※県内のがん診療連携拠点病院来院の患者様及びご家族と市民公開講座来場者

（4）調査方法

記述は質問項目別に選択及び自由記載方式のアンケートを実施する。

拠点病院来院者にはがん専門相談員が説明し協力を得られた場合、配布。

市民公開講座来場者には当日資料に同封し配布。

回答は、委託会社に返信用封筒で郵送し、集計。

（5）調査内容

がん相談等に関する現状把握、課題・ニーズの把握

詳細は、別添アンケート用紙を参照

（6）回収結果

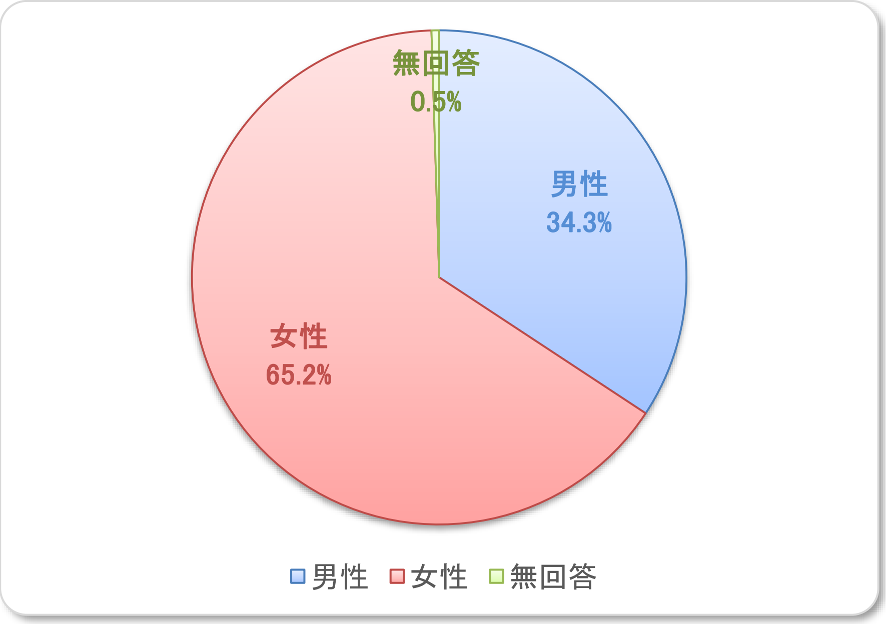
回答率37.7%（対象は一般の方480名中、回答者181名）

③一般向け

Q1.「アンケート回答者」についてお伺いします。

1）性別

「男性」が34.3%、「女性」が65.2%であった。



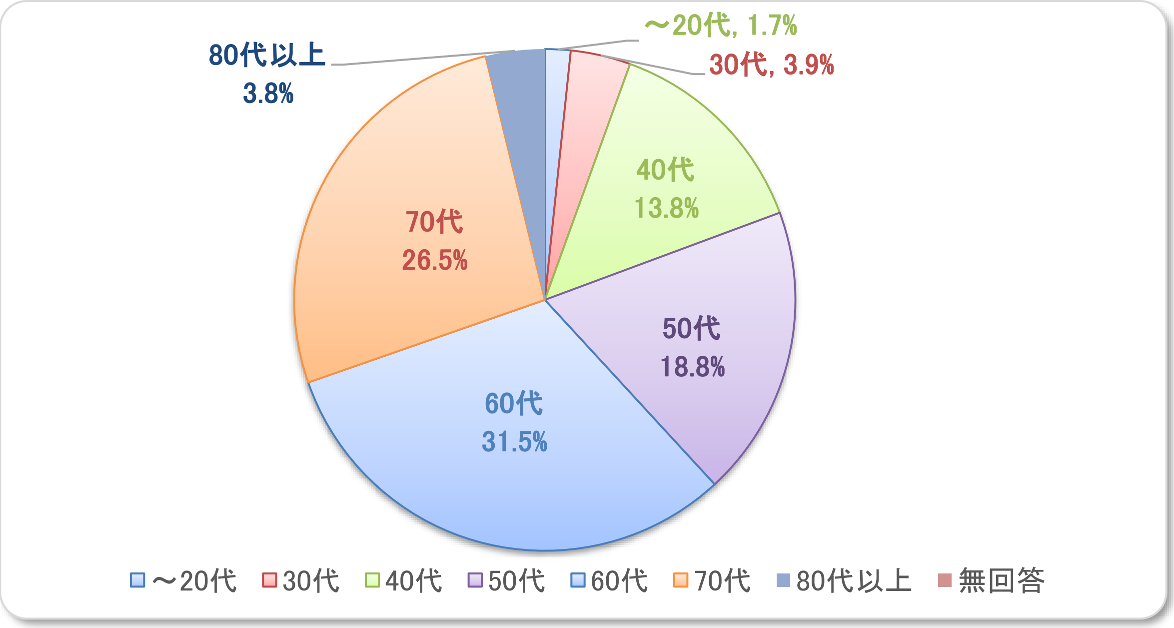
	サンプル数	男性	女性	無回答
対　象	181	34.3%	65.2%	0.5%
合　計	181	62	118	1

③一般向け

Q1.「アンケート回答者」についてお伺いします。

2）年齢

「60代」が31.5%、「70代」が26.5%、「50代」が18.8%であった。



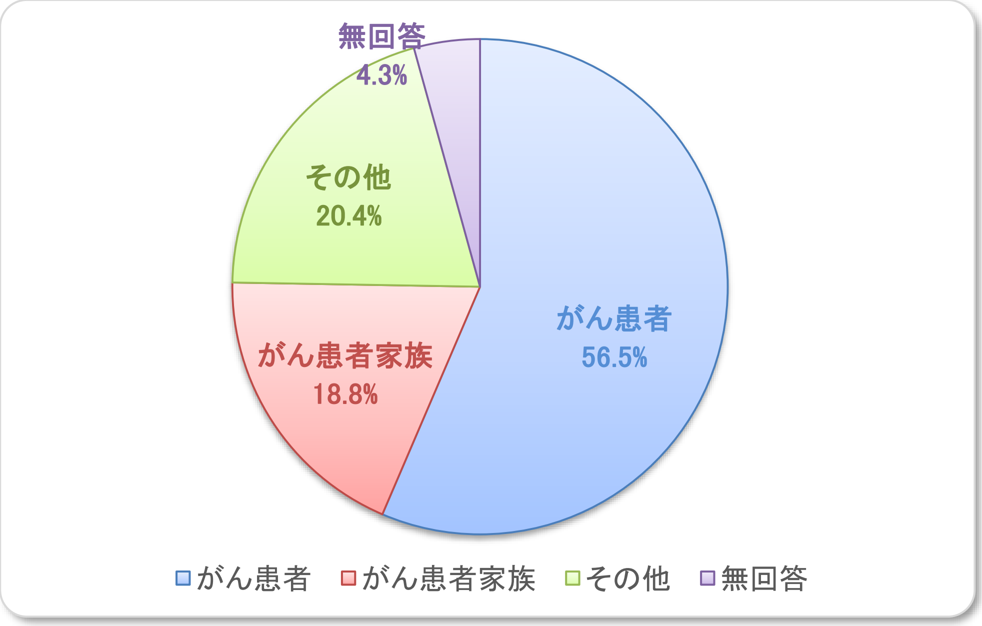
	サンプル数	～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答
対　象	181	1.7%	3.9%	13.8%	18.8%	31.5%	26.5%	3.8%	0.0%
合　計	181	3	7	25	34	57	48	7	0

③一般向け

Q1.「アンケート回答者」についてお伺いします。

3）がんとの関係

「がん患者」が56.5%、「がん患者家族」が18.8%、「その他」が20.4%であった。



	サンプル数	がん患者	がん患者家族	その他	無回答	項目合計
対　象	181	56.5%	18.8%	20.4%	4.3%	100.0%
合　計	181	105	35	38	8	186

（多資格取得による複数回答あり）

「その他」のご意見

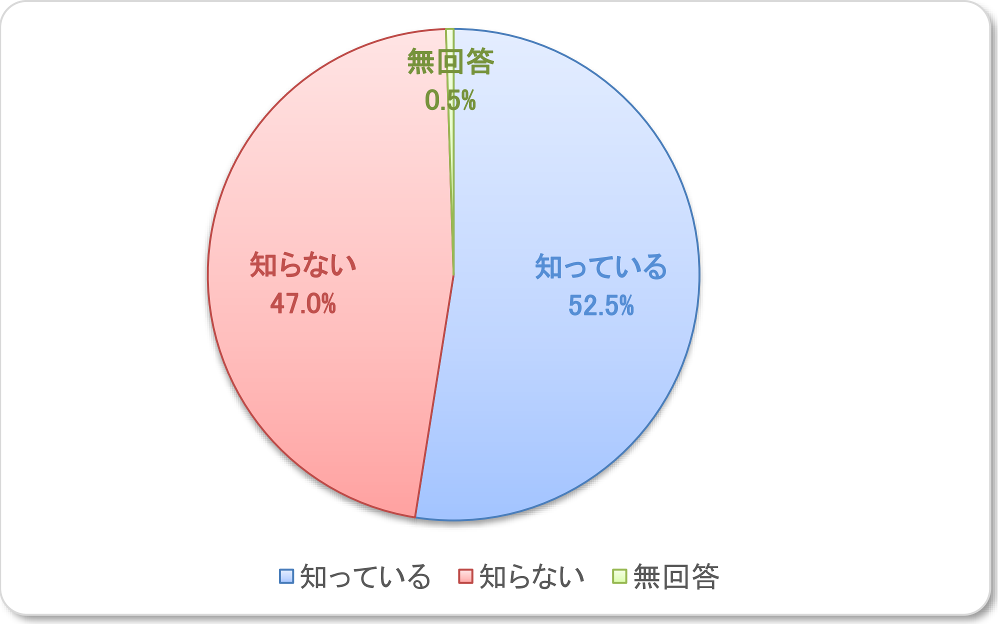
- 医療従事者
- がん家系として
- 一般
- 病院職員
- 仕事の相手
- 友人ががん患者
- 福祉関係仕事
- 兄弟
- 医療スタッフ
- 看護師
- これからのがん患者に対して
- 医療関係者
- 親友を肺ガンでなくした。
- 以前10何年前手術した
- がんはない
- オストメイト
- 友人

③一般向け

Q2「がん相談支援センター」についてお伺いします。

1）がん相談支援センターを知っていますか。

「知っている」が52.5%、「知らない」が47.0%であった。



	サンプル数	知っている	知らない	無回答
対 象	181	52.5%	47.0%	0.5%
合 計	181	95	85	1

③一般向け

Q2「がん相談支援センター」についてお伺いします。

2)「知っている」と<u>答えた方</u>はお答えください。どのように知りましたか。

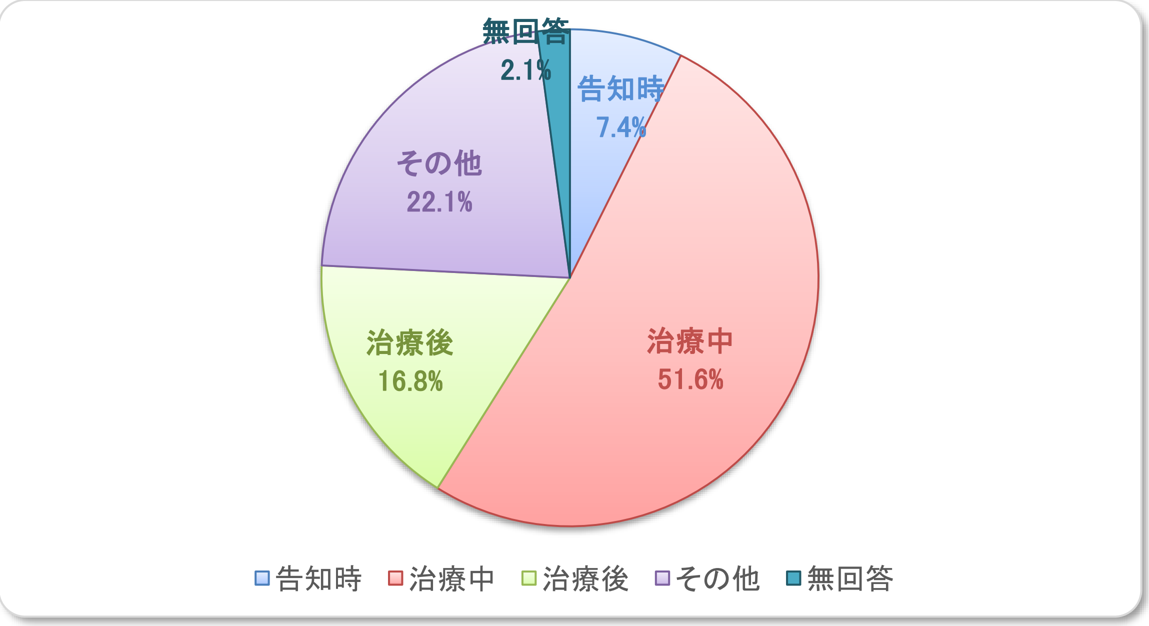
- 病院で(他12件)
- 医療者からの紹介(他2件)
- 入院時のオリエンテーションで知りました。(他3件)
- 再発の告知を受けてがんの治療を始める時に話をされた
- 家族、友人の治療中、医師にすすめられた。
- 看護師さんから紹介されました。(他4件)
- 社会福祉士、ケア・マネージャー、PTから
- 病気になってから病床中に相談員の方がいらして下さってから。
- 案内板(他6件)
- パンフレット(他6件)
- センターがあるのを見た(他3件)
- ポスターを見て(他2件)
- チラシ(他1件)
- 私のカルテ(他1件)
- ガン相談室の看護師から頂く(冊子)
- 病院のテレビ
- がんサロン (他11件)
- 家族が癌になった時、病院の看板で知った(他2件)
- 知人が癌になった時
- 自分の業務上(他2件)
- マスコミ、雑誌、新聞、テレビのニュース等(他2件)
- 職場で聞きました(他1件)
- 研修に参加して(他1件)
- 消化器のポスターのはりがみ又は、がん患者の人と知り合いの方のさそいでした。
- 病院内で掲示してあるのを見たり、インターネットで調べたりした。
- 最初に手にした「患者必携がんになったら手にとるガイド」をWebよりダウンロードして読んで知った。
- 乳がんの本

③一般向け

Q2「がん相談支援センター」についてお伺いします。

3)「知っている」と<u>答えた方</u>はお答えください。いつ頃知りましたか。

「告知時」が7.4%、「治療中」が51.6%、「治療後」が16.8%、「その他」が22.1%であった。



	サンプル数	告知時	治療中	治療後	その他	無回答
対　象	95	7.4%	51.6%	16.8%	22.1%	2.1%
合　計	95	7	49	16	21	2

「その他」のご意見

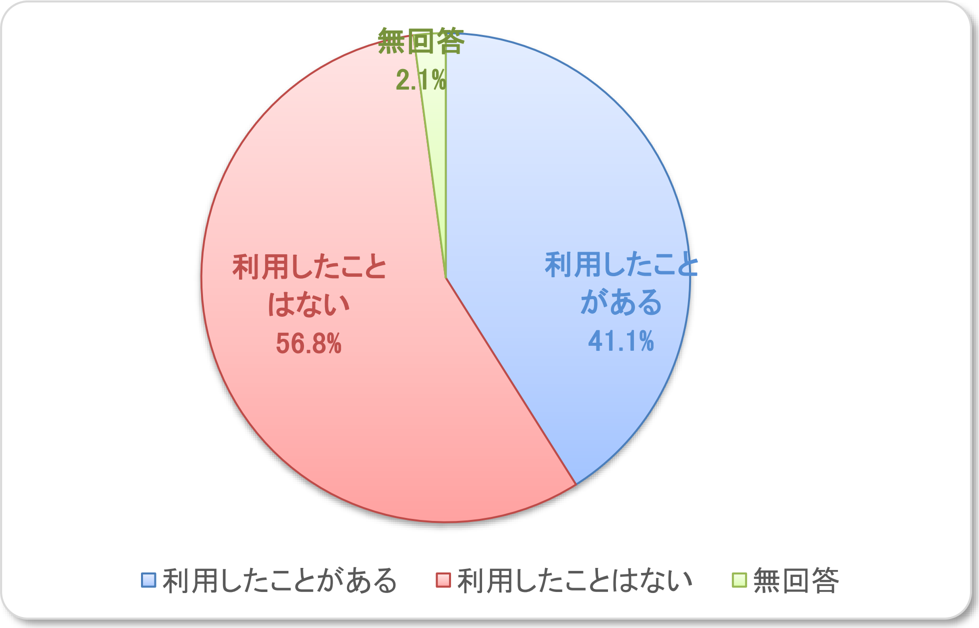
- 仕事で
- 他の病気で掲示板を見た
- 関心がある(介護の仕事をしている)
- 患者さまとかかわった時
- 入職後しばらくしてから。
- 告知前から
- 治療前
- 「疑いがある」から「告知」の間
- 通りすがり
- 外来初診時
- がんサロンに参加するようになって
- 私は半年1回CTの検査

③一般向け

Q2「がん相談支援センター」についてお伺いします。

4)「知っている」と<u>答えた方</u>はお答えください。利用されたことはありますか。

「利用したことがある」が41.1%、「利用したことはない」が56.8%であった。



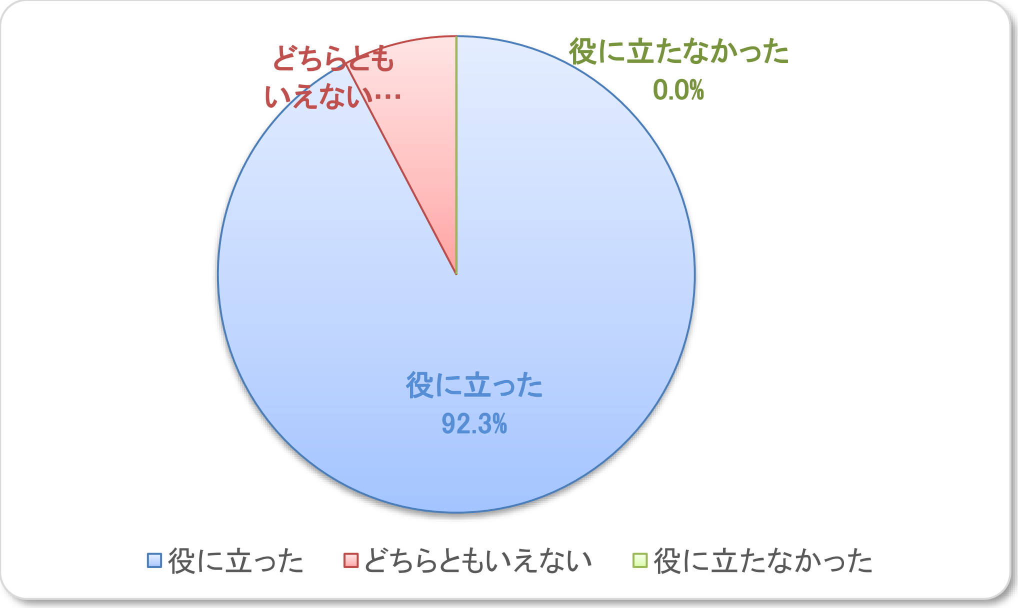
	サンプル数	利用したことがある	利用したことはない	無回答
対　象	95	41.1%	56.8%	2.1%
合　計	95	39	54	2

③一般向け

Q2「がん相談支援センター」についてお伺いします。

5)「利用したことがある」と答えた方はお答えください。利用して役に立ったと思いますか。

「役に立った」が92.3%、「どちらともいえない」が7.7%、「役に立たなかった」が0%であった。



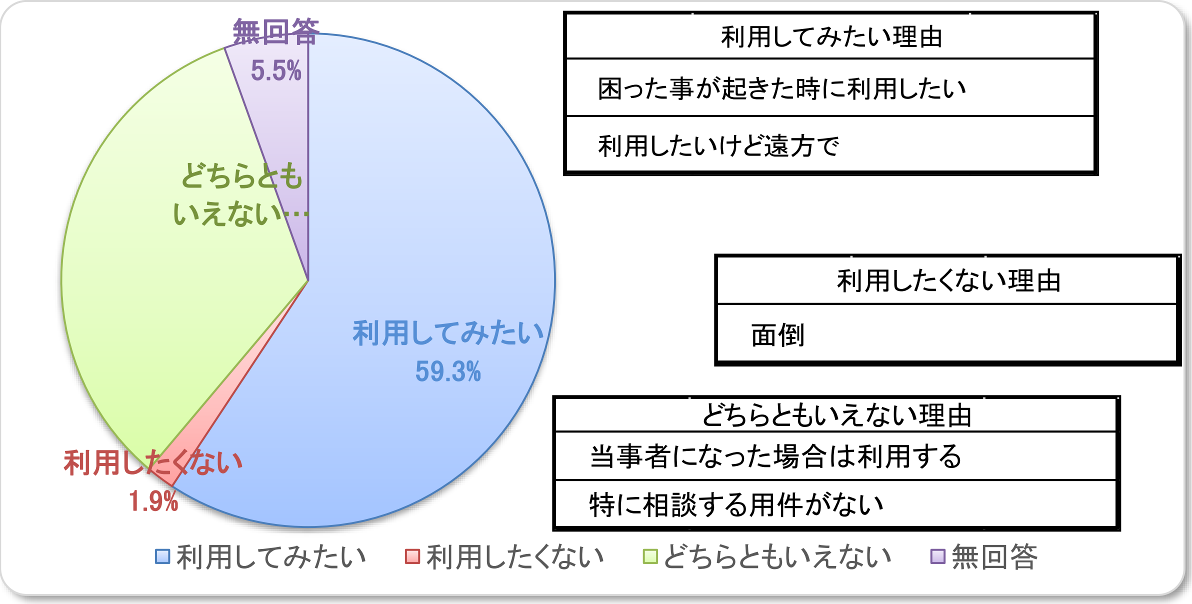
	サンプル数	役に立った	どちらともいえない	役に立たなかった
対　象	39	92.3%	7.7%	0.0%
合　計	39	36	3	0

③一般向け

Q2「がん相談支援センター」についてお伺いじます。

6)「利用したことはない」と答えた方はお答えください。利用してみたいと思いますか。

「利用してみたい」が59.3%、「利用したくない」が1.9%、「どちらともいえない」が33.3%であった。



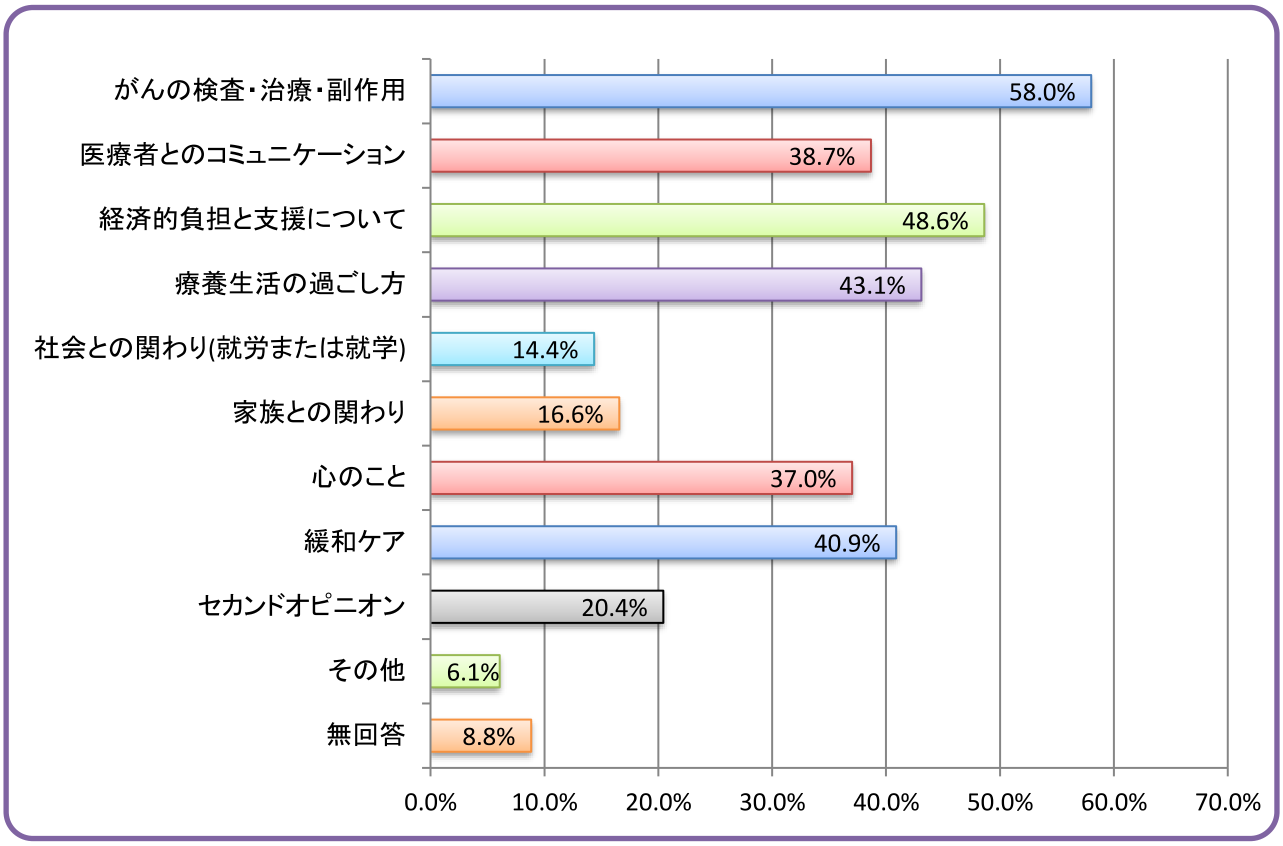
	サンプル数	利用してみたい	利用したくない	どちらともいえない	無回答
対　象	54	59.3%	1.9%	33.3%	5.5%
合　計	54	32	1	18	3

③一般向け

Q2「がん相談支援センター」についてお伺いします。

7）がん相談支援センターのサービスで利用したいと思うサービスにレをつけてください。（複数回答）

「がんの検査・治療・副作用」が58.0%、「経済的負担と支援について」が48.6%、「療養生活の過ごし方」が43.1%であった。



	サンプル数	がんの検査・治療・副作用	医療者とのコミュニケーション	経済的負担と支援について	療養生活の過ごし方	社会との関わり（就労または就学）	家族との関わり	心のこと	緩和ケア	セカンドオピニオン	その他	無回答
対　象	181	58.0%	38.7%	48.6%	43.1%	14.4%	16.6%	37.0%	40.9%	20.4%	6.1%	8.8%
合　計	181	105	70	88	78	26	30	67	74	37	11	16

③一般向け

「その他」のご意見

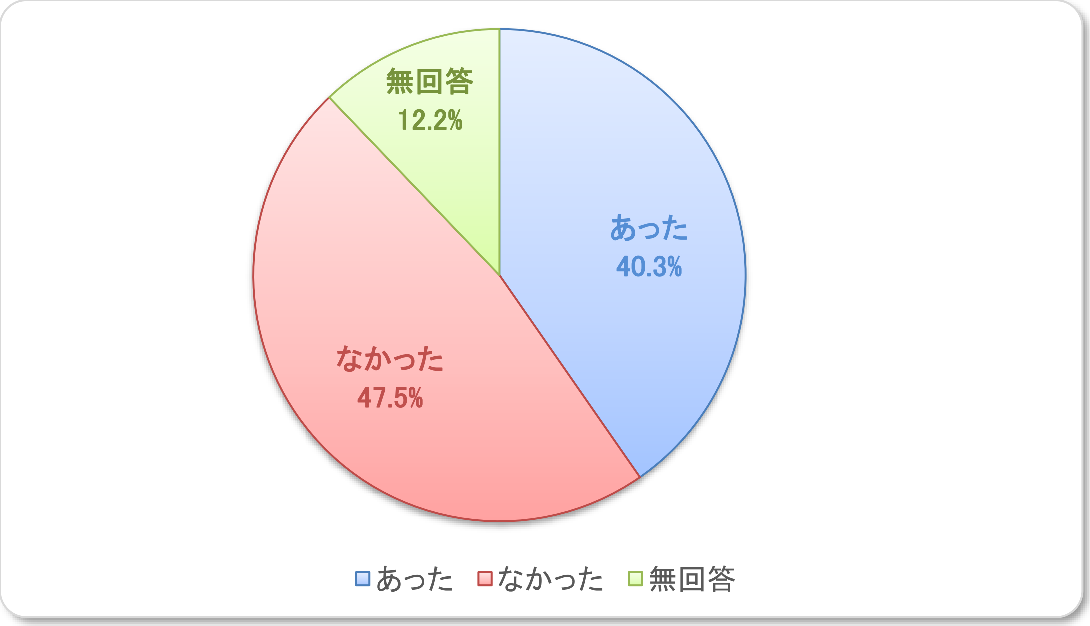
- リハビリについて
- 家族や周囲との関わり方を勉強したい！
- 終末期のガンで主治医の先生を信頼しているが、たまにセカンドオピニオンもしてみたい気持ちがありますが、誰にどこでという所で迷っています。
- 乳癌と診断を受け、手術を勧められているが、本人が拒否しているケースです。本人に決定する権利はあるのですが、病院は生命を第一に考える所と思います。がんという病気と向きあってもらうために力を貸して欲しい。そんな取り組みもお願いします。
- その時々の心情や考えていること、疑問などを聞いてもらうだけでも心が晴れたり、答えが返ってきたり自分で気付いたりした。
- 三大療法以外の療法（たとえば、免疫細胞療法等）
- 先のことがわからないのでつねに不安
- 同じ病気の方とのコミュニケーション
- 1回だけ参加して見て皆様の前向きな気持に感動しました。又チャンスがあれば共に話し合いながら私もがんばって日一日を楽しく生きていきたいと思いました。
- 今後のこと

③一般向け

Q3.「がん情報の提供及び収集」についてお伺いします。

1）受診している病院で、がんの相談窓口（がん相談支援センター等）に関する情報の提供はありましたか。

情報の提供が「あった」が40.3%、「なかった」が47.5%であった。



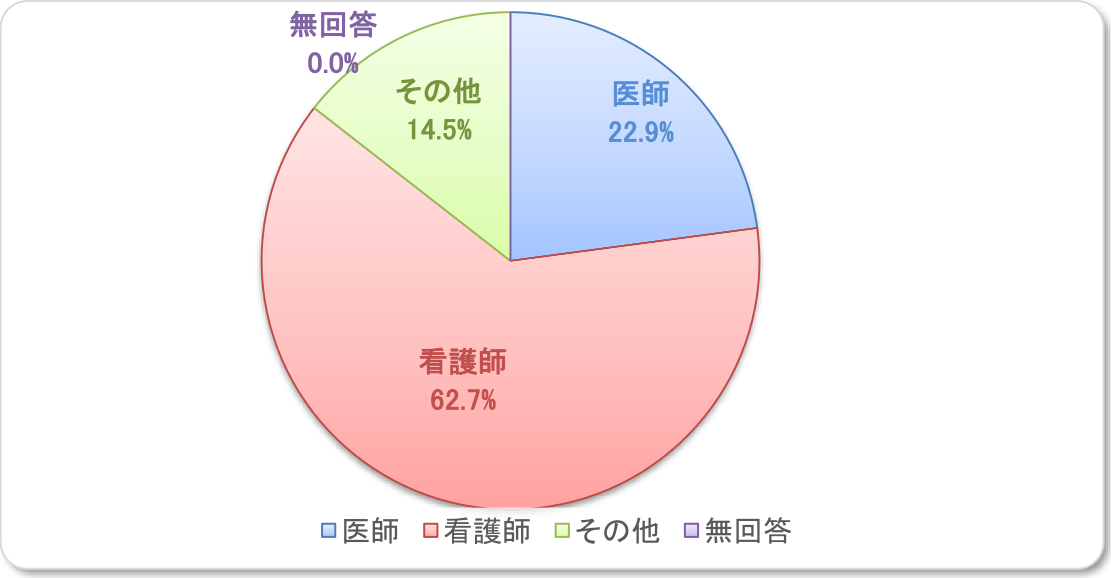
	サンプル数	あった	なかった	無回答
対　象	181	40.3%	47.5%	12.2%
合　計	181	73	86	22

③一般向け

Q3.「がん情報の提供及び収集」についてお伺いします。

2)「あった」と<u>答えた方</u>はお答えください。どなたからお聞きになりましたか。(複数回答)

「医師」が22.9%、「看護師」が62.7%、「その他」が14.5%であった。



	サンプル数	医師	看護師	その他	無回答	項目合計
対　象	73	22.9%	62.7%	14.5%	0.0%	100.0%
合　計	73	19	52	12	0	83

「その他」のご意見

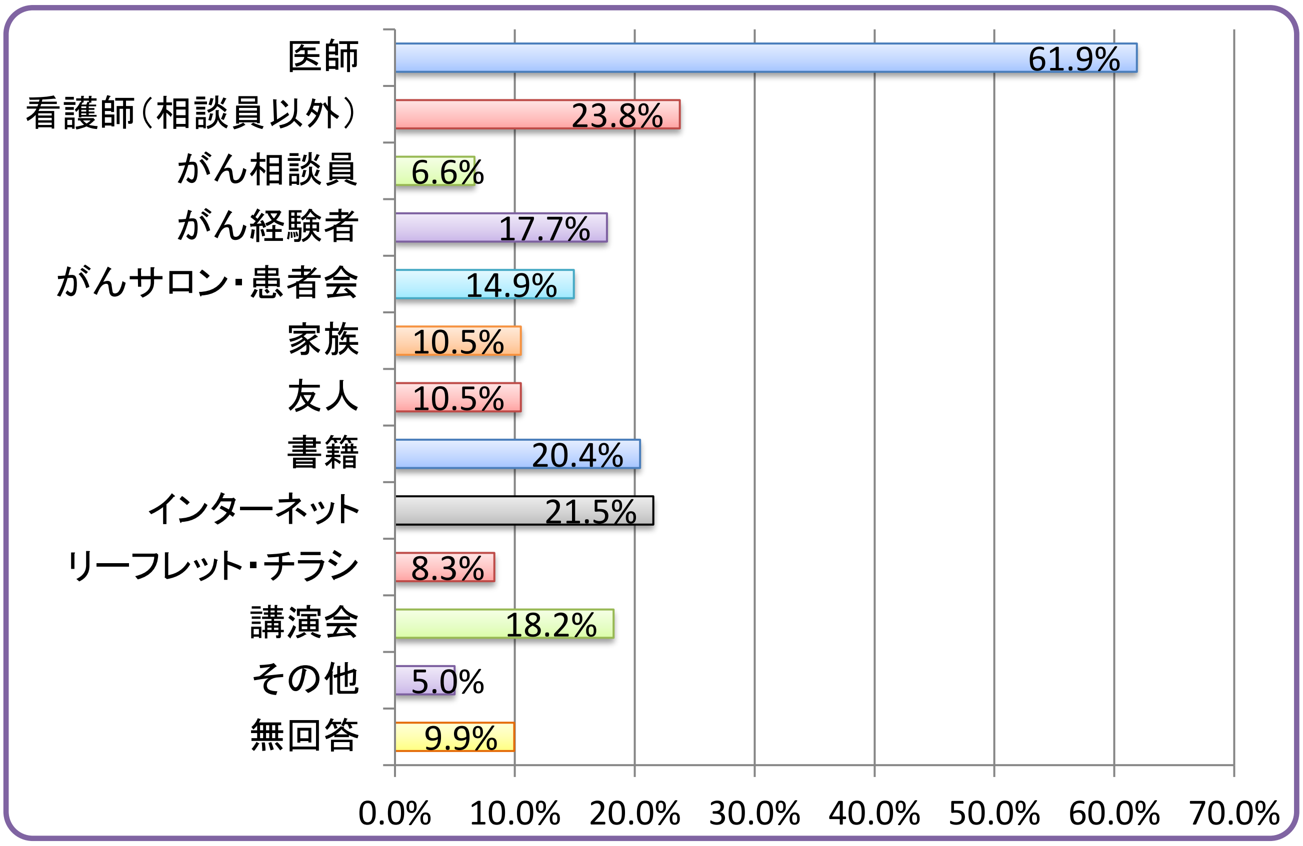
- 資料や案内のポスター等から、情報を得て、看護師に尋ねた。
- 医療関係者や家族。
- 医療福祉士
- 妹も看護師なのでケアしてくれます！
- 抗癌剤を打つ待合所
- がんサロン(他1件)
- がん患者の方からです

③一般向け

Q3.「がん情報の提供及び収集」についてお伺いします。

3）がんに関する主な情報源は何ですか。（複数回答）

「医師」が61.9%、「看護師（相談員以外）」が23.8%、「インターネット」が21.5%であった。



	サンプル数	医師	看護師（相談員以外）	がん相談員	がん経験者	がんサロン・患者会	家族	友人	書籍	インターネット	リーフレット・チラシ	講演会	その他	無回答
対 象	181	61.9%	23.8%	6.6%	17.7%	14.9%	10.5%	10.5%	20.4%	21.5%	8.3%	18.2%	5.0%	9.9%
合 計	181	112	43	12	32	27	19	19	37	39	15	33	9	18

「その他」のご意見

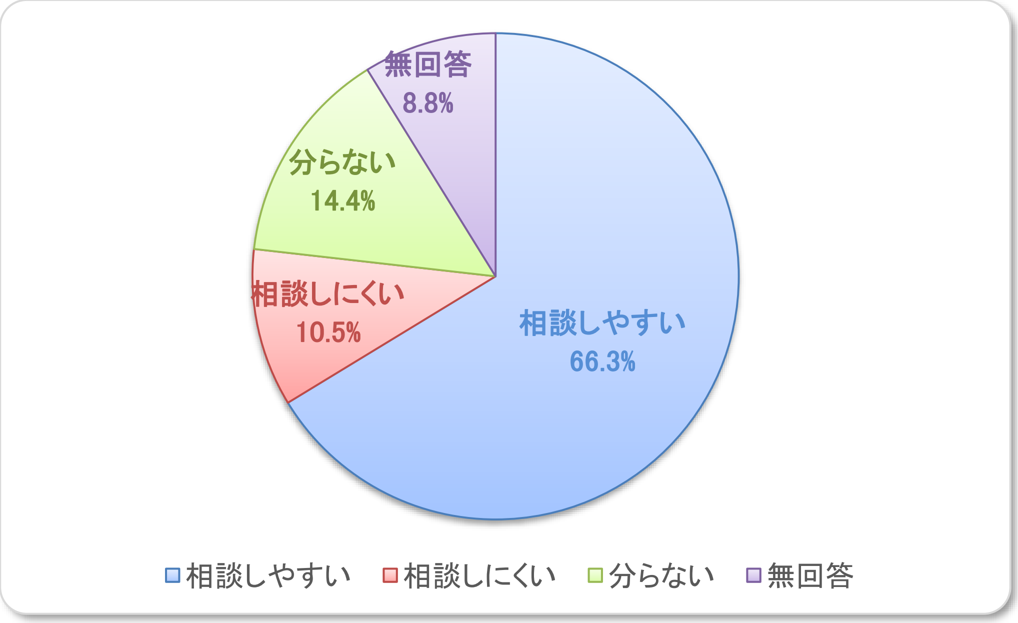
- メディア
- 医療福祉士
- テレビ（他2件）
- 保険会社
- 親戚の医師
- 新聞やラジオ、テレビなど

③一般向け

Q4.「医療従事者との関係」についてお伺いします。

1）主治医（医師）とは相談しやすい関係ができていますか。

「相談しやすい」が66.3%、「相談しにくい」が10.5%、「分らない」が14.4%であった。



	サンプル数	相談しやすい	相談しにくい	分らない	無回答
対　象	181	66.3%	10.5%	14.4%	8.8%
合　計	181	120	19	26	16

「相談しにくい」理由

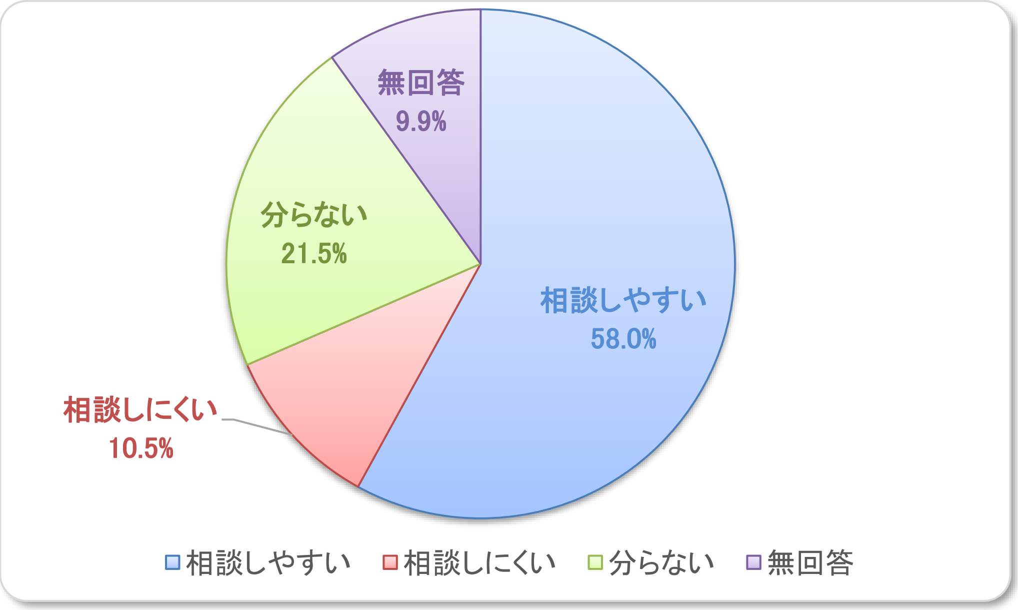
- 忙しそう（他2件）
- 何を聞いてもつっけんどん。
- 忙しくしていて、なかなか会えないので情報が少ない。（不安）
- 先生も忙がしく半分（しやすい）、半分（しにくい）と思っています。
- 質問しないと話が進まない
- 詳しく聞けない
- 日によってうまく話せる時と話せない時がある
- 医師の口数が少なく相談したいこと、聞きたい事を頭一杯考えて行くけど言いだせない内に又と言われ終ってしまう。
- 受診時間が短じかいため。
- 2回目のガンですが、前回の医師が良かった。詳細（現実の事）に説明少ない
- 威圧的に感じる時がある。
- 聞きにくい
- 相談しにくい雰囲気

③一般向け

Q4.「医療従事者との関係」についてお伺いします。

2）医師以外の医療スタッフとは相談しやすい関係ができていますか。

「相談しやすい」が58.0%、「相談しにくい」が10.5%、「分らない」が21.5%であった。



	サンプル数	相談しやすい	相談しにくい	分らない	無回答
対　象	181	58.0%	10.5%	21.5%	9.9%
合　計	181	105	19	39	18

相談しにくい理由

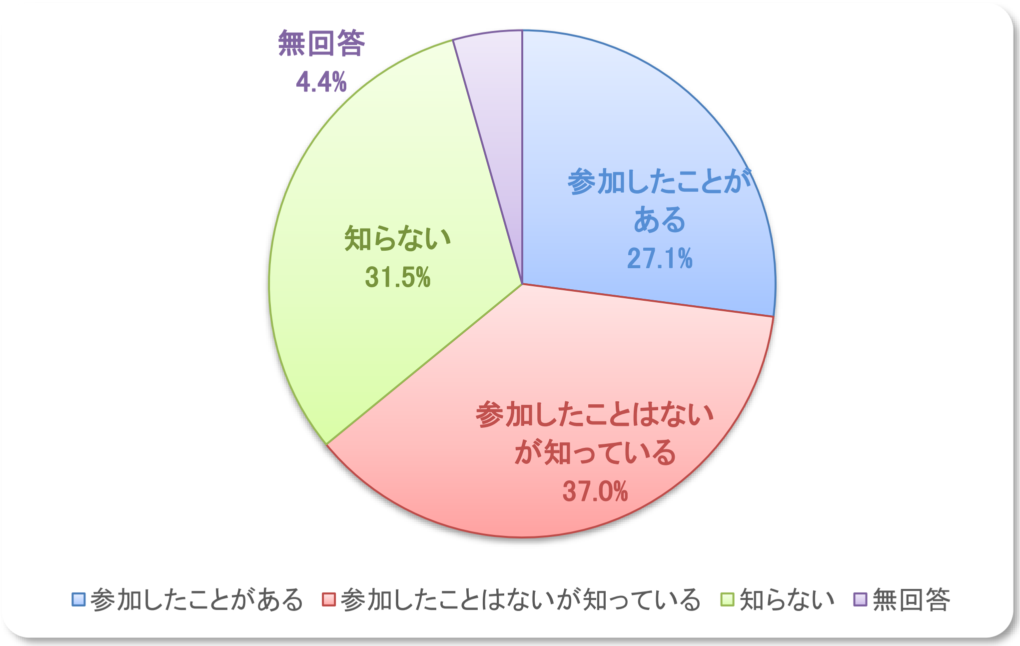
- 相談したくても場所がない
- 忙しくしておられるので分からない事を聞きたいが…気がひける。
- 忙しそうで話せない（他2件）
- 窓口で聞いても思う様な返事がなく、看護師も無口で話し掛けにくい
- スタッフの面識がない
- 話したことがない
- 主治医いがい相談したことがない
- コミュニケーションがとれていない

③一般向け

Q5.「がんサロン・患者会」についてお伺いします。

1）がんサロン・患者会に参加したことがありますか。

「参加したことがある」が27.1%、「参加したことはないが知っている」が37.0%、「知らない」が31.5%であった。



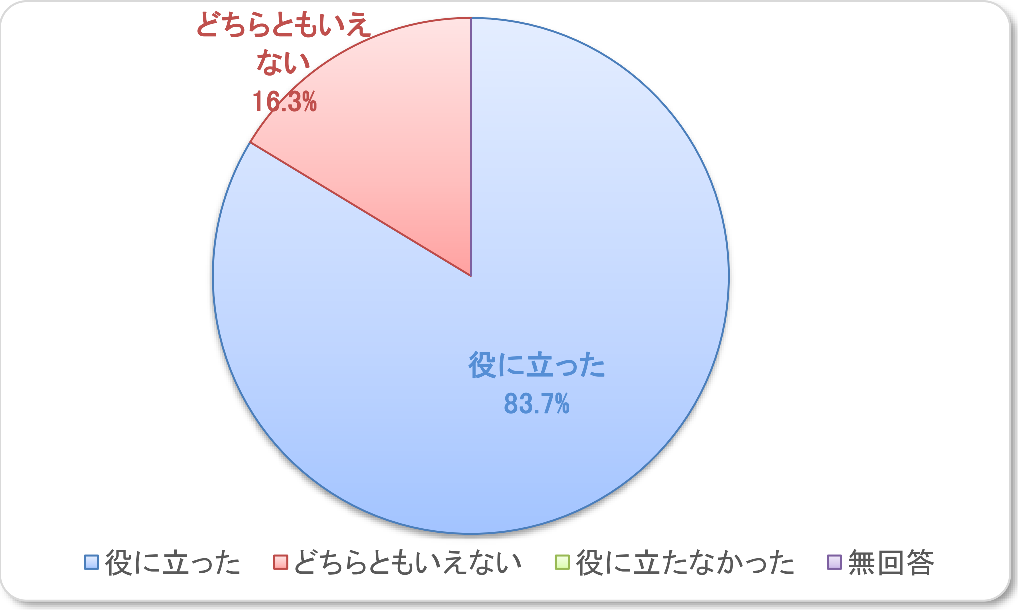
	サンプル数	参加したことがある	参加したことはないが知っている	知らない	無回答
対　象	181	27.1%	37.0%	31.5%	4.4%
合　計	181	49	67	57	8

③一般向け

Q5.「がんサロン・患者会」についてお伺いします。

2)「参加したことがある」と答えた方はお答えください。参加して役に立ったと思いますか。

「役に立った」が83.7%、「どちらともいえない」が16.3%、「役に立たなかった」が0%であった。



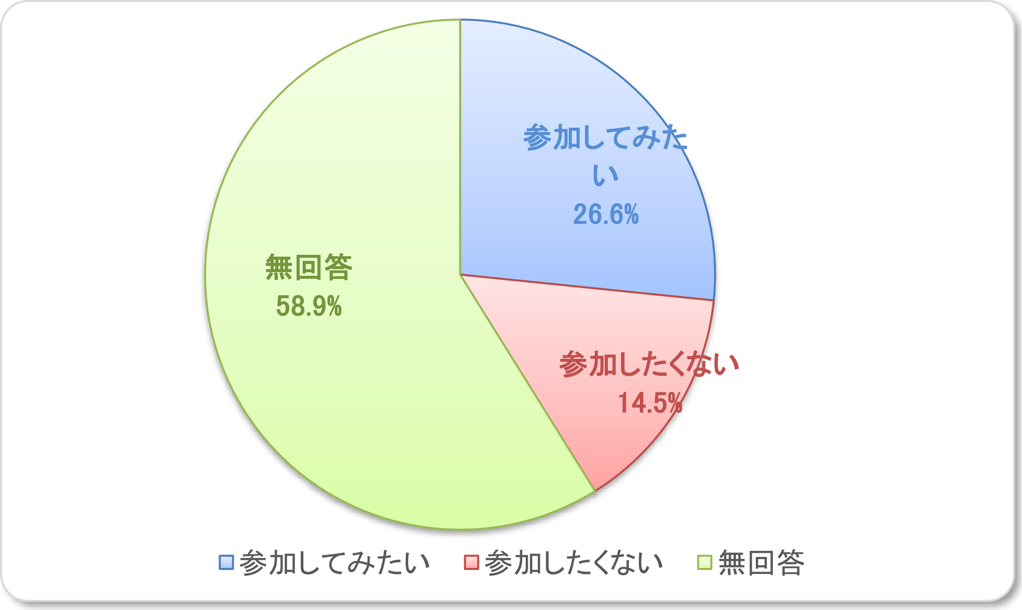
	サンプル数	役に立った	どちらともいえない	役に立たなかった	無回答
対　象	49	83.7%	16.3%	0.0%	0.0%
合　計	49	41	8	0	0

③一般向け

Q5.「がんサロン・患者会」についてお伺いします。

3)「参加したことがある」と答えた方以外はお答えください。参加してみたいと思いますか。

「参加してみたい」が26.6%、「参加したくない」が14.5%であった。



	サンプル数	参加してみたい	参加したくない	無回答
対 象	124	26.6%	14.5%	58.9%
合 計	124	33	18	73

「参加したい」理由

- 同じ病気を持っている人が明るく生き生きして前向きにしておられる事

「参加したくない」理由

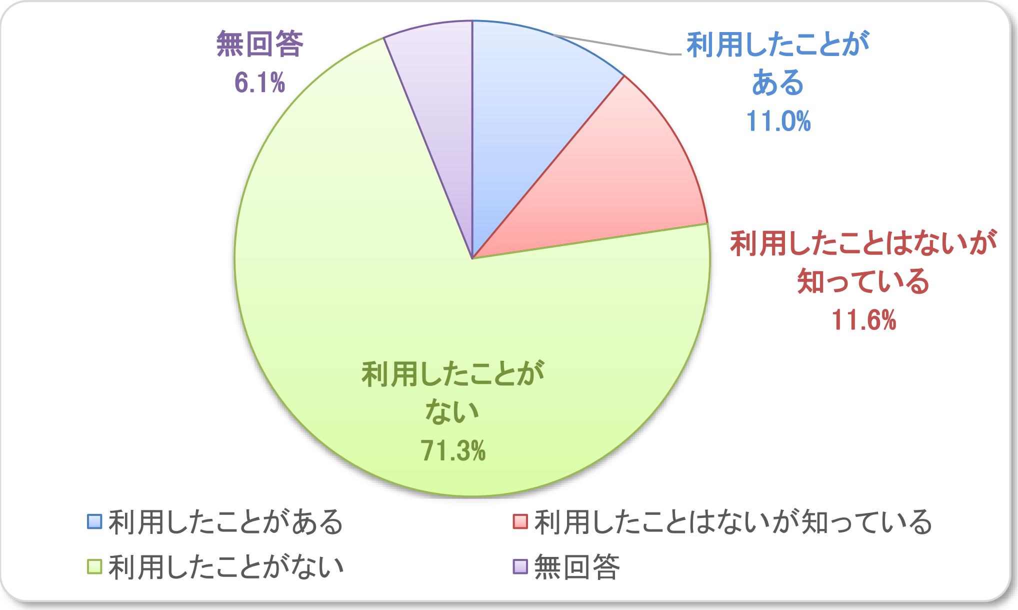
- 今その段階ではない
- 患者ではない為
- 時間と場所が少し遠い。
- 今なんともない
- 相談員 質 技量の是非
- 付添で時間を取っているため
- 他の人に知られたくない。又他の人と話すのがにがて。
- 個人の考えはバラバラだし、面倒
- 仕事をしているので時間がとれない。
- 特に必要と思わない
- 今は考えたくない
- わからない

③一般向け

Q6.「がん患者によるピアカウンセリング『おしゃべり相談室』」についてお伺いします。

1）がん患者によるピアカウンセリング「おしゃべり相談室」を利用したことがありますか。

「利用したことがある」が11.0%、「利用したことはないが知っている」が11.6%、「利用したことがない」が71.3%であった。



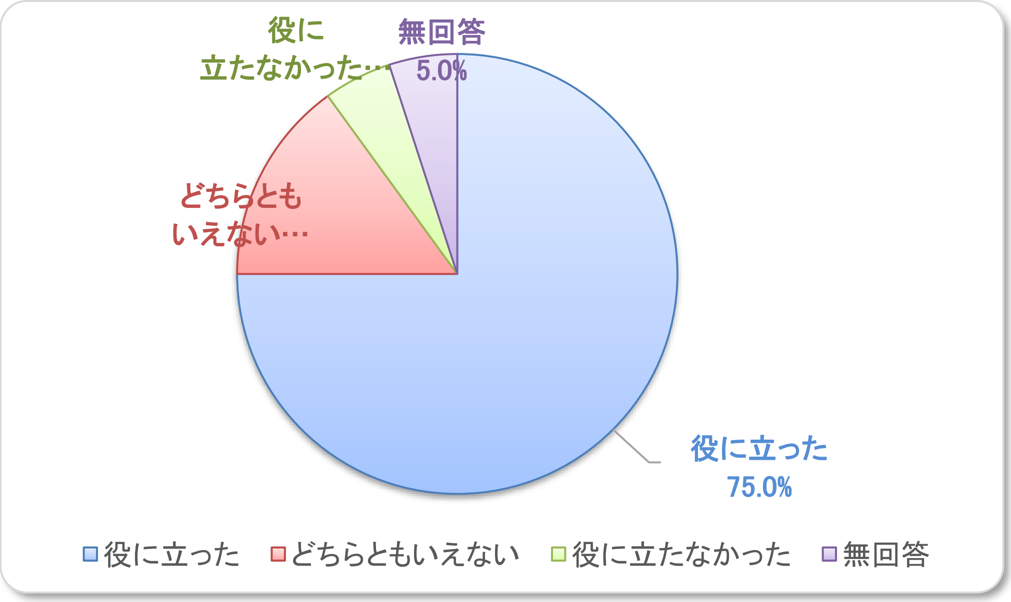
	サンプル数	利用したことがある	利用したことはないが知っている	利用したことがない	無回答
対　象	181	11.0%	11.6%	71.3%	6.1%
合　計	181	20	21	129	11

③一般向け

Q6.「がん患者によるピアカウンセリング『おしゃべり相談室』」についてお伺いします。

2)「利用したことがある」と答えた方はお答えください。利用して役に立ったと思いますか。

「役に立った」が75.0%、「どちらともいえない」が15.0%、「役に立たなかった」が5.0%であった。



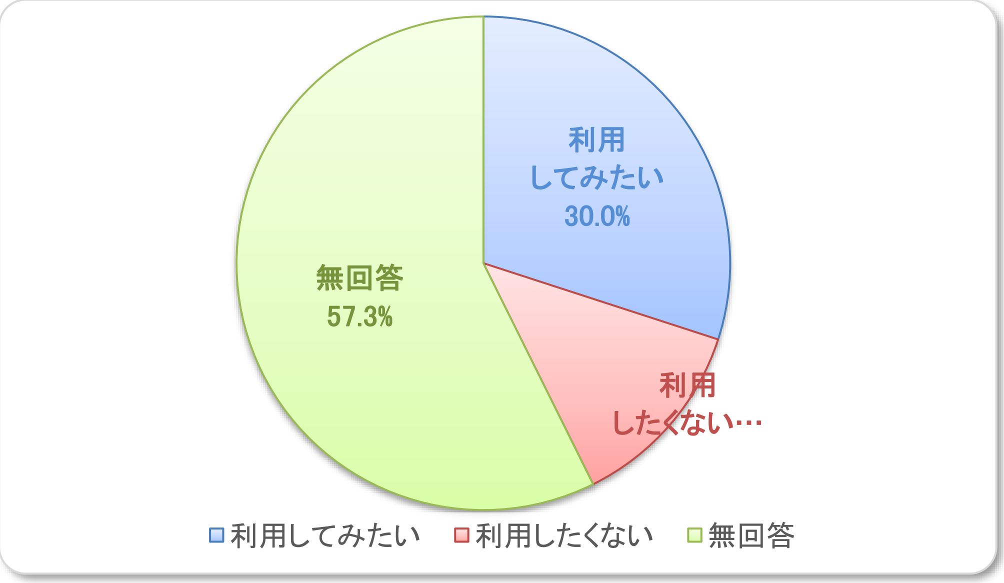
	サンプル数	役に立った	どちらともいえない	役に立たなかった	無回答
対　象	20	75.0%	15.0%	5.0%	5.0%
合　計	20	15	3	1	1

③一般向け

Q6.「がん患者によるピアカウンセリング『おしゃべり相談室』」についてお伺いします。

3)「利用したことがある」と答えた方以外はお答えください。利用してみたいと思いますか。

「利用してみたい」が30.0%、「利用したくない」が12.7%であった。



	サンプル数	利用してみたい	利用したくない	無回答
対　象	150	30.0%	12.7%	57.3%
合　計	150	45	19	86

利用してみたい理由

- 経験者の話を聞いてみたい

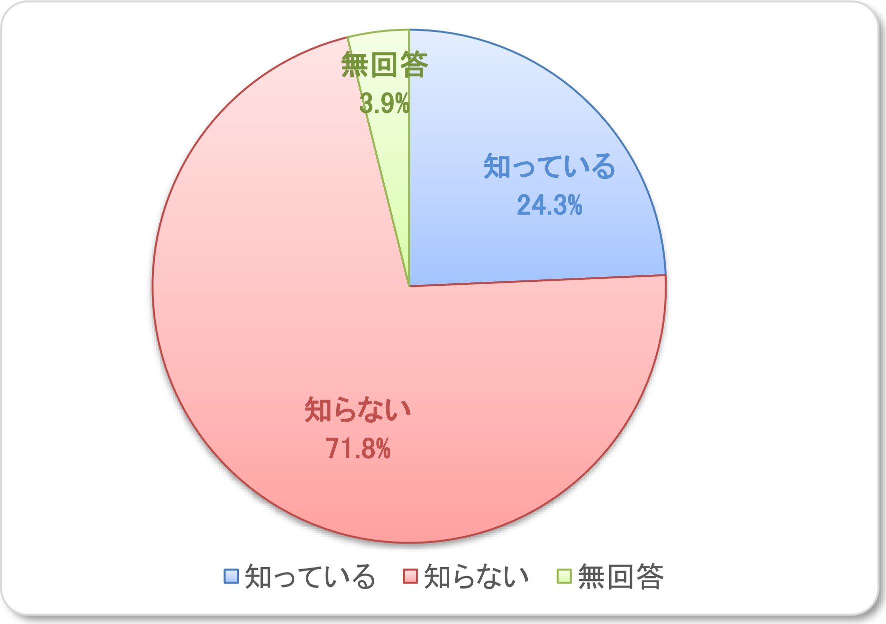
利用したくない理由

- 現状として、利用施設への送迎が難しい！
- 本人にまだ話せないでいる(最期をどうしたいか)
- 日時が合わないので参加出来ない
- めんどうだ
- 別に
- 雑談会に終始しやしないか？
- 今、仕事に従事している。その中で病気や、その他の事を話す事が出来ている
- 自分の考えを、しっかりもっていればそれでいい
- よくわからない
- 人見知りするので
- したくないわけではなく、今は必要がない。
- 体力がない
- してみたいような、みたくないような、よくわからない

③一般向け

Q7.がんピアサポーター（がんサロンの世話人、がん経験者相談員等）というピアサポーターを知っていますか。

「知っている」が24.3%、「知らない」が71.8%であった。

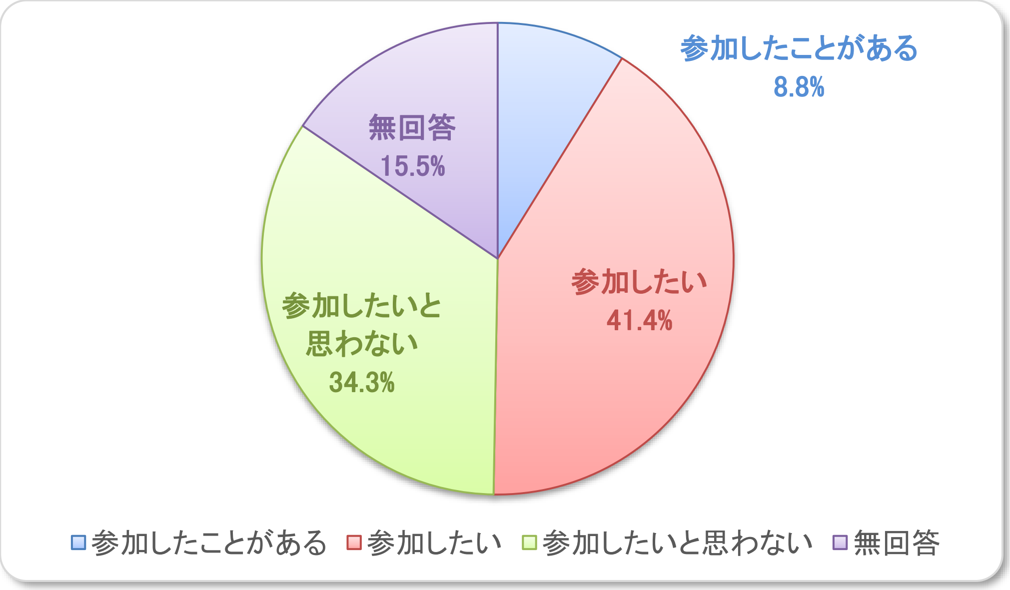


	サンプル数	知っている	知らない	無回答
対　象	181	24.3%	71.8%	3.9%
合　計	181	44	130	7

③一般向け

Q8.がんピアサポーター研修会（毎年2、3月に実施）に参加したいと思いますか。

「参加したことがある」が8.8%、「参加したい」が41.4%、「参加したいと思わない」が34.3%であった。

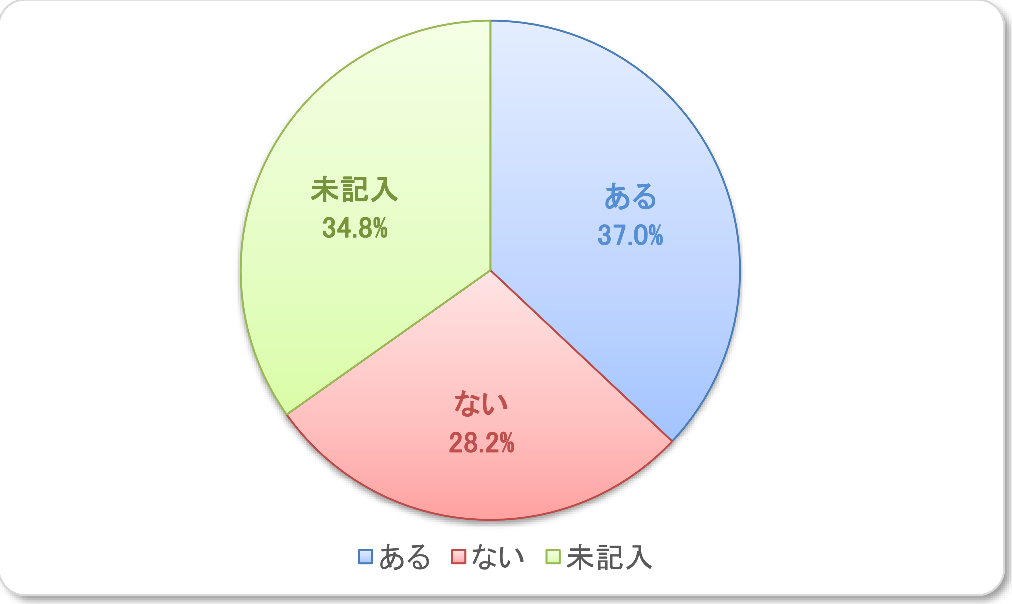


	サンプル数	参加したことがある	参加したい	参加したいと思わない	無回答
対　象	181	8.8%	41.4%	34.3%	15.5%
合　計	181	16	75	62	28

③一般向け

Q9.がんに関する公開講座やセミナー等で取り上げてもらいたい情報はありますか。(自由記載)

「ある」が37.0%、「ない」が28.2%であった。



	サンプル数	ある	ない	未記入
対 象	181	37.0%	28.2%	34.8%
合 計	181	67	51	63

③一般向け

取り上げてもらいたい情報

- 妻が乳ガンで、治療は3年目ですが、薬物治療のみで79才で高齢のため、手術や乳ガン治療はできないか考えています。
- すいぞうガンの早期発見について
- 自分の卵巣ガンに関する情報が少ない
- 最新の治療法に関して
- 最新の治療法について、実施状況や治療費などの情報を教えて欲しい。特に肺癌についての情報を知りたい。
- いくつかの治療法を知りたい
- 日々、ガンの事は変化していると思う（治療法、薬）ので、その情報を早くテレビ、サロンなどで流してほしい！
- 新しい技術（先進医療や代替療法）について
- 最新情報たとえば免疫療法
- 免疫療法
- 免疫療法や代替療法など
- 免疫療法等新しい治療についてipsなども
- ガン遺伝子治療をテレビで聞き話を聞いて見たい
- 最新治療と保険適用の有無
- 自由診療と保険診療
- 色々な治療方法を教えてもらいたい。治療に関して補助が有れば教えてほしい。
- 新しい情報、ガン免疫細胞治療等・・・
- 全体的な傾向と地域的な状況
最新の情報
- 患者数の多少に関わりなく、とり上げてもらいたい。又、最近は医薬いろいろな面で日進月歩の時代かと思います。具体的な例など知って励みにしたい。
- 新しい治療方法（iPS等）治療費（抗がん剤1本で高額医療）後どのくらい続くとなると不安（月1回の通院6年）になる。
- 医療の進歩によって…と良く聞く話ですが、死亡して（多くの方）ゆく人の話がない。どうしたら（改善）少しでも抑えうれるか？治療のことも今後の生活態度のこと、くわしく聞きたい

③一般向け

- がん治療について、最新の情報（現在研究中のものとか）再発しても希望がもてるような話しを聞きたいです。
- 新薬（抗がん剤）の進捗状況
- 病理診断で得たがんの特徴を解説してほしい。抗がん剤を受けた方が良い場合と受けなくても良い場合の違い。転移や再発した場合、その後の生存期間は個々に違うのですよね？その違いはがんの特徴によってのものですか？
- 抗がん剤の効果やその話し
- 副作用と、5年、10年後の治療や過ごし方など、分からないことがありすぎる。勉強したいと思う。
- ガン治療後の副作用等について。
- 化学療法による副作用等、より細かい情報やメリット、デメリットそして、代替療法等、少しでも希望ある治療を説明してほしい。※患者はやはり、心の準備が必要だと思っています。
- 薬に関するわかりやすい説明。医療従事者、ドクターやナースの意識レベルが専門医療機関以外でも同様の水準があるかなしか。
- 抗がん剤治療中の日常生活の留意点、副作用に対する知識や緩和法など。
- 手術後の薬の副作用で先生やかんご婦さんに大変めいわくかけました。今は日一日とがんばって生きています。ほんとうに有りがとうございました。今は手術も成功してかんしゃの気持ちでいっぱいです。熊本大学医学部附属病院の消化器の先生にありがとうございましたと心の中でいっぱいです。
- 手術後のケアについて詳しく教えて欲しい
- 緩和ケアについて特に病棟についてくわしく知りたいどういうところか
- 在宅治療を考えているが、緩和ケアについて、自宅で受けられる医療内容。
- 終末期医療、緩和ケア
- 緩和ケア
- 経済的負担と支援について
  ターミナルケアと「心」の支援
  緩和ケアについて
- 「緩和ケア」について、理想でなく現実的なところの医療についてとか、ケアについてとか
- 小児ガン急性リンパ性白血病について。
- 小児がんについて
- 癌治療前の卵子や精子凍結について
- 医療従事者と家族・本人との関係保持について
- 患者の家族との関わり方（医療者と家族）とくに死を迎えるであろう1w～前後の関わり方とか…

③一般向け

- 主治医に対してセカンドオピニオンを申し出る時の言い方やセカンドオピニオンを主治医から提案される位の社会になる方法

- 日常生活と治療

- サイコオンコロジーについて

- 心のケアについて、がん患者の心理学。

- がんと告知された時の心のケアについて

- 術後3カ月です。体のケア、再発、転移と不安な気持ちになります。ガンに関する書籍もたくさん出版されている今、情報に振り回されず穏やかな日々を過ごしたいと思います。心のケア、食事、運動等身近な事のお話を聞きたい。

- 食事に関すること(ガンの食事などいろいろな本がでているが、真逆の事を書いてあることも多い)ガンをかかえて生きるにあたり、仕事との両立について。

- がん患者に対する声かけ、言葉かけの有効性何故ならデリカシーのない不用意な声かけが多い＜例えば頑張って、元気そうね、思ったより元気ね、本当にがんだったのetc＞

- 終末期のガンの人に対してどう最期をすごしていきたいか。まだ軽い最初にみつかった時点で本人に考えてもらうシステムが出来ていたら周りも落ち込まないような気がする。全員でサポートをして本人も生きる希望を持ってその日まで頑張れる…自分がなった時は考えると自信がない…様々な講座に参加し勉強するしかない。

- 高齢な親(現85才)84才で胃がんの手術を受けたが、再発した場合、外科的な治療は無理だと思うし、又しないつもりだが、終末医療などわからないので話を聞く機会があれば聞いてみたい。

- 末期状態になった時の心の持ち方や、のこされる家族の心の持ち方など話を聞いてみたい。

- 余生を明るくするための講話、笑いを中心とするとする講座が良いと思う。TV等CMのような”今からの余生を楽しむために頑張って来た”etcみたいに！

- がんになって1年過ぎました。がんサロンには毎月参加していますがかがんピアサポータセミナーは、山崎記念館であるのですが、プログラムを見て参加したいと思いますが遠いので無理です。

- サポーターの苦悩

- いろんな説明をききたい

- 療養中の生活費と就労の関わり(がんと仕事のQ＆Aを読んでみたけど、本にのっている様な大企業でもないし、そんな規則があるのかも知らないので不安になる。

- 患者申出療養制度が今年4月からスタートするとの事ですがこの制度の利用の仕方を教えて頂きたい。

- がん以外に他の病気がある場合の関連性など。例　ぜんそく、糖尿病、痛風、心臓病etc

- 情報は腫瘍(全般)でも取上げてもらっても私年齢的にも行動範囲が制限されますので参加出来るか？残念です

（実際のアンケートをそのまま記載）

③一般向け

Q10. がん相談に関して課題・不満等を感じていることはありますか。（自由記載）

- 自分の術後にたいするがんにかんすることをもっとくわしくしりたい。
- 手術前には、十分な説明がされるけど、術後のスケジュール等の説明が不足している感じがするので、そのきめ細やかなフォローを相談支援センターにお願いしたい
- 治療スケジュールの具体
- お医者様から手術後のデメリットのこともちゃんと話して欲しい。例えば胃の術後、ダンピングがおきたり、ふとれないとか、生活の質が非常に落ちる事等栄養士の方から食事のこと、食べ方等の説明。患者を大事にされている熊大病院の姿勢がよくわかりました。先生たちは大変だと思いますが、私達は有難いことです。これを機にがん患者の友達に緩和センターの話等しようと思います。大変ためになりました。有難うございました。
- ”生存率についてかんかいして5年たてば大丈夫ですよ”と、子どもが急性急性リンパ性白血病になった時にいわれました。でも、発症した時は1歳半で、生存率70～80%といわれました。毎日ハラハラして看病やケアしてた時に医師も看護師も何の情報もくれず、子ども退院した時自分自身が精神的に不安定になってしまったのでもう少しなにか考えてもらいたいです。
- 最初医院（近所）の診察を受けた時、2、3ヶ月間大きい病院を紹介してもらえず、（私の方から頼んでも）やっと他の病院へ行ったら、急がなくてはとすぐ手術でした。最初から熊大病院（個人で行けない）では診察してもらえない為困ります。クリニックでは患者を引き止めないで欲しい
- 治療費が高額になり治療費の為に具合悪くても仕事をしないといけない状態にあります。肝炎みたいに多少の助成金があればいいなあと常日頃考えてます。
- 主治医の人が良く相談すると病名をおしえてくれる。
- 前回の手術は8年前でしたが、前任の医師は異動で居られないのですが、前任の医師とのコミュニケーションを取りたいです。
- 乳がんは治療すればその後再発や転移しない人も沢山いらっしゃるようですが亡くなってしまう人もいる。その違いはどうして出るのだろう？
- 直接相談することはありませんのでよくわかりませんが、患者様とかかわる中で一生懸命勉強されてる患者様は多くの情報や選択肢がありますが、知識がなければなりゆきにまかせるしかないのかなぁーと感じた事はあります。ドクターやスタッフ次第ということだと思います。延命よりも天命での幸福を願います。より良い支援を期待致します。
- 熊本県内の肺癌の方の患者会などの交流ができる所を探しているが、なかなか情報が入ってこない。
- 熊本での現状をテレビで放映してほしい
- 治療中（初めの頃）「緩和ケア」についての知識もろくにない患者（私）に突然緩和ケアについての面談アンケート？を病院で求められたのは今でも納得できずにいます。市民、患者への教育をお願いしたいです。緩和ケア担当のナースかしら
- 緩和ケア病床が少ないため、タイミングよく入院できない。
- 私自身は自らのがんとの闘いについて、今のところ周辺に迷惑をかけていないつもり。多分、終末期になればお世話になると思います。

③一般向け

- 十分話を聞いてもらって感謝している。

- 支援センターに行くと、心配な事など話しを聞いてもらえるだけでも気持ちが落ちつきます。これから先、病状が進んで行けば相談する事が多くなるのではないかと思っています。その病院の患者ではなくても相談できるのはすごく助かります。

- 自分自身がガンにかかってないがその時相談できる所を知っておきたい。心のケアが大事。

- 患者になって気付いた事、地方（八代）に住んでますが、現在、お世話になっている病院には特別な相談員がいらっしゃるか、又、そう云う場所があるか情報も聞いた事はないです。良かったら気軽に相談出来る場所があれば良いなと思います。

- 誰でもが相談員になってほしくない。本心から弱い立場の患者の立場になって考えたり行動に移したり出来る方になってもらいたい。※又来たかみたいな感があられる相談員さんもたまにおられる。

- なかなか気軽に行きづらいです。少し敷居が高く感じます。

- H9年に主人が大腸ガンと診断を受けて宣告された時にはショックで泣き暮しました。その時にはこういう事業もなく、だれにも相談できずにいましたが主治医の先生の治療と励ましの言葉等で元気になり現在も二人で楽しく暮しています。私も手術して10年になり癌が残っているとの事ですが経過観察中で1年に1回診察をうけています。現在は再発の事も考えずに過しています。今だったら相談できただろうと思っています。

- ガン相談支援センター等の周知
  情報は知りたいが、時間的に患者会等に参加しづらい人への情報提供

- がん相談制度がある事知らなかった。もっと積極的に情報提供してほしい。

- 相談室がわかりづらい

- 「Q6」のおしゃべり相談室では患者のカウンセラーがするのか！ピアサポータがするのか！！

- 高齢者ががんになって、もう治療もしなくていいと本人から言われている場合、がんと本人にはなるべく知られない方がいいと思うが、今は本人告知が当たり前と言われたことに対して。

- 私は、地域でがんサロンを開きたいと思っています。患者は、癌になった時これから先起きることを知りたいと思っています。それは、病院ではなく、患者同士で語り合うのが、一番と思います。サロンを開きたいがなかなか思うようにいかない。

- ガンサロンをもっと活用してほしいしサロンが途絶えないように願う

- 通院している病院では担当のドクターは、とても忙しく、ゆっくりと話を聞く機会にない状態です。不安に思ってる事はガンサロン等で話してはいますが、解決がつかない状態です。

- 私は去年12月荒尾市民病院「ガンサロン」の集会に参加致しました。まだ月 日も浅く何の意見もありません。只、少し驚いた事に参加者がたった10名程でした。何故少ないのでせうか？

- 自分のがん（すいがん）の友人とかサロンに出席してもいない。今後の事についていろいろ情報を知りたい。

- がん患者が増えているため、同室の患者同志から、情報を得る事が多いので医療者よりもリアルな話しを聞く事が出来てる（本人、患家族にも、初めての経験なので参考になる（副作用、再発、予後etc）

③一般向け

- 具合が悪くなると何でもかんでもガンのさいはつに思えて、日々の生活がたのしくなくなりました。そんな心のケアがあったならと思います。

- 今のところ、通院中の病院にて話しを聞いていただき、色々教えてもらえているので、不満はありませんが、再発することがこわいと感じています。医療費支払いの不安もあります。話しを聞いていただけるとほっとします。気軽に相談できるとてもうれしいです。

- 親が高齢者の為に苦しまないように過ごさせてあげたい

- 私の知人もがんで死にました。本人の苦しみは大変だったと思いますが、家族の方々の様々な思いも大変なものだった思います。家族の方々のケアも大切かと思います。

- 保険等にははいれないこと
  お金がかかること

- 年金生活での患者として、女性として、どうしても家庭の食事の支度から離れる事が出来ません。以前は「男子厨房に入らず」等と言われていた時代もあり、何十年もやった事のない男の人には無理があります。私自身、体力も衰えるばかりで、外へ出かける事も怖くなりました。治療費等の過程の負担も大きく、希望と言うことばが薄れていく一方で、毎日考える事ばかりです。

- 中々、自分の病気を受け入れきれずに悩み、隠して、暗く為りがちな人が未だ々たくさん居ると感じます。個人、個々の事情は有ると思いますが、もっと前を向いて”病気を楽しむ”そんな気持ちが大切と思います。※日本人気質で見栄とか！分からん！からそのままで閉口してしまう人に言いたいのですが！！もっと自分をオープンにしたら、気が楽に為り色々な楽しい知恵と病気とのつき合い方が解り、余生を再出発できますよネ！！

- がんで去る人々が多く聞き不安でつぎ自分と思うと死にたいする不安が日々重くなって来ます。がんで去られた人々を見聞して居るので日々が不安です。

- 今は薬が次々と開発されて、長く生きられると思ってます！前向きに頑張ります。

- 先生や看護婦さんに会いたくてたまりません。有りがとうございました。

- 特になし(他に15件)

- 特にありません。まだ、がんの診断を受けたことがないので、あまり自分のこととしてとらえきれていないと思います。

- 現時点では、しっかり相談に乗ってもらっているのでありません。

- 最近告知されたばかりなので課題・不満を感じるまでに至っていない。

- 私自身や身内にいないのでいまは関心がありません。

- がん=死。

- 癌を受け入れているので不安は余りない（延命治療は拒否）

（実際のアンケートをそのまま記載）